

五代教主作 灰釉茶盌 鉛 「神島」(神島土・金字松釉)

直 出 口

巻 第 5 3 5 号 行 大本東京本部 東京宣教センター センター長 浅田秋彦

東京都台東区池 TEL (IP) 050-5510-9502 03-3821-3701 FAX 03-3821-5283

URL http://oomoto-tokyo.com Mail tokyohonbu@oomoto.or.jp

今月の聖言

天も地も清め澄まして惟神 かみの教を布かむとぞ思ふ

出口王仁三郎聖師

愛善宣教課主幹 成な

変わります!

大本開教百二十年を迎えた昨年(平成二十四年) 「常設大本講座 の一月から、 首都圏宣教を目的として、 尾ぉ 義だし

その内四十七人が一般の方やまだご入信でない信徒子弟でした(九月十八

の郵送を希望になる方があり、 祭にご参拝になる方、また教団の月刊誌「みろくのよ」を購読されたり本紙「阿づまの光 方がご入信になったのをはじめ、 つひとつが響き、心が弾む思いで受講しました」などの感想が寄せられ、その後お二人の ました」「普段の生活をじっくり、落ち着いて振り返ることができました」「講師の言葉一 ご受講いただいた方々からは「お話を聞いて ~一日々々の大切さ、に気付くことができ 劇的な成果とはいかないにしても、、神への門戸、へとつな 両聖地の「大道場修行」をご受講された方や東光苑月次

が急がれているように思われます』(平成十九年教主さま新年ごあいさつ) りやすく世の人々にお伝えし、また「天地の律法」を人類普遍の倫理として普及すること 『今、大本の基本的なみ教え、特に神と人との関係、 人生の目的、 霊界の実在などを分か

ました。これは「話を聞きたいが日中は仕事等で足が運べない」というご要望にお応えし たもので、今後も皆さんの声に耳を傾けながら、充実した内容を目指していく所存です。 グラムにつきましても、これまでの実習ではなく、 十月から刷新。 東京本部では、 また名称もシンプルに「常設大本講座」 月曜日に「神と人の関係」、水曜日「霊界の実在」、金曜日に「人生の目的 右記の教主さまのお教示を基として「大本常設対外講座」の講題をこの 日中同様に講座を実施することとなり 一へと改名します。そして夜間のプロ 平成二十五年九月十九日 記

阿づまの光

第124 回大本公開講座「出口なお・王仁三郎の世界を語る2013」

本および日本人の使命 日本は世界の要

あさ だ とき ひこ **浅 田 秋 彦** (東京宣教センター長)



に広がっていきます。つまり、

少しずつ違います

果たせば、世界は良くなっていくという意味

すでに決められていることなのです。 ています。これは宇宙を創造された時から、 大本では、この天命がしっかりと教えられ

日本は世界の雛型

時宜を得たことではないかと思います。

"使命』とありますが、これは天から

すべてにおいて混乱している状況がありま

現在の世の中を見ていると、政治、

経済、

神さま

す。こういう現状の中で、「日本および日本

人の使命」についてお話させてもらうのは、

犯すべからざる土地なのである』とあります。 それゆえ日本国は、地球の艮に位置して神聖 固めていられた時にお姿同様であって、その 本州がユーラシア大陸、 うに見えます。そして日本の形と、そっくり 長さも幅も、寸法において何ら変わりはない。 て、 の国を創られました。そして日本を雛形とし ア、九州がアフリカ大陸です に世界を創られました。北海道が北アメリカ、 地図を見ると、日本は竜の形をしているよ : 立尊が竜体を現じて、地上の泥海を造り 神さまは地球を創造される時、最初に日本 大本の教典「霊界物語」には、『元の大国 他の国々を創っていかれたのです。 四国がオーストラリ

の世」であるわけです。この使命は日本の国

そして向かう先は一つ、地上天国「みろく

や日本人だけにあるのではなく、すべての国 や人にあり、それぞれの顔や容姿が違うよう

鉱物、全てにあります

は、宇宙全てのもの、人間はもちろん動植物 のご命令、天命、とも言われます。この使命

がっていくように、日本で起こった事は世界 物事においても、池に石を投げて波紋が広 日本が使命を

あり、 植物においても優にヨーロッパの十倍の植種 多雨で、加えて太陽光と肥沃な土壌に恵まれ、 聖なる神のお住まいどころとするためです。 の日本の島が四方に海をめぐらしたのは、神 をもち、北から南の端まで稲作ができるのも に跨って、周囲に海をめぐらし、気候は温暖 この恩恵であり、恵まれています。 界を守護していこうとされているのです。 で非常に重い責任があるのです。 このように日本は、地は南北に亘り、東西 神さまは日本を地場・足がかりとして、 日本は神さまのお集まりになる結構な国で 世界の本となるべき国であります。 ح 世

精神的な文明を持って、統一していく使命を 民を安らかに生きていけるように、道義的、 日本は持っているわけです。 受けています。 て、 日本は世界の国魂を生かしながら、世界万 知らず知らずに、素晴らしい精神文化を ていると言えます。また、気候や四季を通し

な場所で神の気を受けて、自然と神心になっ

また、日本人は、お宮や神社などいろいろ

るのです。 どの力と神のご守護が、すでに準備されてい 日本は世界中を助ける責任がある。それほ

神が全てを統一する国・ 日 本

日本は世界の雛型

統は世界でもまずありません。このことは、 以上の長きに亘り、 皇統であると言われています。 紀元前六六〇年から現在まで、二六〇〇年 日本は神武天皇以降、現在まで万世一系の 皇位継承が続いている皇

神が神国である日本を守り、そして世界の役

真釣り合って、初めて成立します。日本の天 に立つようにというおぼしめしであります。 皇は政治権力を行使せず、国民を自分の一番 神国は、 「神と国と君子と民」この四つが

わけです。 うことで、 はできないと思ったそうです。そして現在の 結びつきの深さに驚き、天皇制をなくすこと 救ってほしい」という内容でした。それを聞 の命はどうなっても構わないから、 ていましたが、天皇から出てきたのは「自分 ります。マッカーサーは「おそらく天皇は自 のマッカーサー元帥と会談した時のことがあ 大事な宝として、守ってくれています 天皇は、国の象徴として残っているわけです。 分を助けてくれと懇願するのだろう」と思っ して、第二次世界大戦後、昭和天皇がGHQ いたマッカーサーは、 これは、天皇と国民との信頼関係があるとい また、日本の御所は一切囲いがありません。 君子と民の結びつきがわかるエピソードと まさに、 神の国の姿を表している 天皇の国民を思う心、 国民を

よ、日本は神国、神が出て働くぞよ』とあり 界に苦説が絶えんから一つの王で治めるぞ 照らしは一体、七王も八王も王があれば、 てを統一するということが、大本の教えです。 ます。、一つの王、とは神のことで、神が全 大本のもう一つの教典「大本神論」に『お

日本人に備わるやまと魂

指しています。菩提心、神心、愛善心とも表 時に、天地の神と精神が合一した心のことを 本でいう「やまと魂」は民族精神であると同 国の使命と共に、日本人に与えられたもの 「やまと魂(日本魂・大和魂)」です。大

阿づまの光

2

「阿づまの光」2013.10.indd 2

13/09/23 14:42

わされます。

東日本大震災の際、日本人の行動が世界中から称賛された話は、皆さんの記憶にも新しいと思います。あの未曽有の災害時の直後に、日本では暴動や略奪がほとんど起こりませんでした。世界の多くの国では、災害や暴動が起こると、商店や住居から略奪や強奪が行われ、大混乱が起こります。

ている」と世界中で報道されました。商店の略奪も起こらず、全てに秩序が保たれても、

されました。
といれば、日本人がこうした状況下で、では全世界でも少ない独特の国民性だ」と評価に対け合うことに対した。

とはありません。必ず戻ってきます。に与えられたやまと魂は、根本から消えるこに与えられたやまと魂は、根本から消えることは消えているように見えます。けれど、本当

世界の文化を吸収・精錬・頒与する

文化によって世界を良くしていくことも日に及ぼす影響は大きいことです。

本に与えられた使命です。

ま際、日本の文化が世界文化になっている ものは数多くあります。柔道、茶道の古くか ものは数多くあります。柔道、茶道の古くか などの食文化。また最近特に影響を与えてい などの食文化。また最近特に影響を与えている

より良いものとして、発信する。そして文化す。そして、その文化を日本の中で消化して、けて、いろいろな国の文化を取り入れていまけて、いろいらず知らずに二○○○年以上を掛

世界の人に日本人の印象を尋ねると、物づ界が平和になるように、貢献して行く。世を発信しながら、世界に和合をして行く。世

くりに優れているとよく言われます。 くりに優れているとよく言われます。 くりに優れているとよく言われます。 どこのアジアの植民地周っても、思います。どこのアジアの植民地周っても、思います。どこのアジアの植民地周っても、思います。どこのアジアの植民地周っても、め、翌年には『鳳凰丸』という軍艦を造り始め、翌年には『鳳凰丸』という軍艦を造り上げました。

この事について、ペリーは「日本人の職人にもの技術の高さは、世界のどこの国の職人にもちらないものがあります。国民の発明力が最も自由に発揮されるならば、世界の最も進んだ、製造王国に肩を並べる日も遠くないだろう。好奇心と進取の精神を持ってすれば、日本人の技術は、最高レベルに達するだろう」と語っています。

正仁三郎の教えにも『世界の文化をことご とく吸収して、同化し、精錬してさらにより 以上美しきものとして、さらにこれを世界に 既よ

指導していくという立場にあります。せて新たに発信し、世界が平和になるように、と、世界の文化を学んで、さらに進化発展さ

日本独特の"もったいない"精神

私たち日本人には、大自然に神が宿り、そ

特の言葉で表わされています。い」という世界のどこの国にもない、日本独が備わっています。その精神は「もったいなの大自然によって生かされているという精神

一代将が来航 この言葉は、ケニアの環境副大臣を務め、一代将が来航 この言葉は、ケニアの環境副大臣を務め、一所懸命調 タイさんが、平成十七年に環境保全の言葉と一所懸命調 タイさんが、平成十七年に環境保全の言葉と地周っても、 意味を聞いて「素晴らしい、これは世界の人地周っても、 意味を聞いて「素晴らしい、これは世界の人体がのたわけ に知らせてあげなくてはいけない」と、日本なかったわけ に知らせてあげなくてはいけない」と、日本なかったわけ に知らせてあげなくてはいけない」と、日本なかったわけ に知らせてあげなくてはいけない」と、日本なかったわけ に知らせてあげなくてはいけない」と、日本ないの電流を造り 独特の言葉として、演説で宣伝しました。

に感動して、世界に広めていきました。日本人は、障子が破れても破れたところだけを貼り替えたり、飾り切りなどして不要な部分だけ修理して、より良く再利用して使います。こういった精神にマータイさんは非常

四つの意味があり、根底には神さまに感謝を

『Recycle (再資源化)』 『Repair (修理)』の

じます。が、最近はその意識が薄らいでいるように感が、最近はその意識が薄らいでいるように感たちも親から何回も聞かされていた言葉です戦争直後の物質が乏しかった時代は、私

アインシュタインの官葉

しました。 一九二二年に来日された折り、次の言葉を残物理学者のアインシュタイン博士は、

日の日本をあらしめたのである。私はこのよのはない。一系の天皇を戴いていることが今の近代日本の発展ほど、世界を驚かせたも

最後に戦いに疲れる時がくる。
はみ、その間、幾度か争いは繰り返されて、らないと考えていた。世界の未来は進むだけがある。

その時、人類はまことの平和を求めて、世界的な盟主をあげなければならない。この世界の盟主なるものは、武力や金力ではなく、あらゆる国の歴史を抜き越えた、最も古く、また尊い家柄でなくてはならぬ。世界の文化はアジアの高峰、日本に立ち戻らなければならない。我々は神に感謝する。我々に日本という尊い国をつくって置いてくれたことを』外国の方が、ここまで日本の使命をしっかりと見極めていることを、私たち日本人は気付かなければなりません。

誇りと自覚をもって

でに与えられています。世界の東西文化を吸収するなどその資格がす日本は、国の使命および日本魂が与えられ、

もう一度再認識することが大切です。自然と調和していけること。また、宗教間も自然と調和していけること。また、宗教間も非常に和合しています。さらに日本人は緻密で豊かな情緒を持ち、進取的・理論的な思考でもう一度再認識することが大切です。

私たち日本人は、普段から日本や日本人の使命ということを意識していませんが、根の使命ということを意識していませんが、根を誇りにし、そして、世界の雛型に住む住人をして、「日本が良くなれば世界が良くなる」ととを、もっと自覚して日々の生活を送らなければなりません。

阿づまの光

3

苑

執行され、三百六十人が参拝した。 斎主・森良秀東京宣教センター次長のもと 霊祭は、九月八日、午前十時三十分から、 東光苑月次祭・長寿感謝祭・秋季合同慰

咩会関東支部、 桑原瑞樹群馬主会青松会長、添釜は神奈川 三四郎くんと石川涼くん、大本神諭拝読は 祭員は関東各主会青松会員、 少年祭員は東京主会の涌井 伶人は宮



があいさつ。 東京宣教センター長 を代表して浅田秋彦 主会が担当した。 祭典後、東京本部

詠」三首を元気に奉 少年部員による「朗 次いで、茨城主会

●離任あいさつ

森 良秀(東京宣教センター次長)

●着任あいさつ 猪子 恒(東京宣教センター次長)

出席者十八人の皆さ 贈呈された。 沼久枝氏に記念品が 川連合会長から、 鈴木花枝直心会神奈 んを紹介したのち、 続いて「長寿祝式 が行われ、まず

米寿に二十四人、喜 教区では白寿二人、 なお本年度、 関東

般五人)。

沢伸宣(群馬)永沼久枝(山梨)斉藤佳郎・ 木まさ子・玉井しのぶ 当日列席者=米寿/桑原泰三(群馬)佐々 子(千葉)榎戸あい子・片桐脩三・本間光枝 武田寿賀子(茨城)塚田和子(埼玉)清水保 寿に五十六人の方々が迎えられた。 川口映(東京)雑賀須美(神奈川)、喜寿/柳 (東京) 大内幸苗·芝恒子·杉村久子 (神奈川) (埼玉) 岡田登美子・

られました。平成十四年九月八日に着任 催は、得がたい経験となりました。皆さ 東京本部建設事業と大本東京作品展の開 験をさせていただきました。中でも、新 して丸十一年。この間、数々の貴重な体 このたび、天恩郷・大道場勤務を命ぜ まとは今後も聖地で 松塾を経て、十四年ぶりに赴任いたしま くの世建設のご神業』にお応えするべく、 した。大神さま、教主さまのみ心『みろ さまから格段のお力添えをいただき「人 「天の時」を順風に、「地の利」=関東の皆 亀岡の大道場、教務局、総合受付、



なりました。

ご奉仕させていただ きたいと存じます。 の和」をモットーに 申し上げます。 何卒よろしくお願い

一郎の世界を語る2013

百二十年記念事業事務局主幹を講師に「芸 十八日午後七時から八時三十分まで、港 王仁三郎の世界を語る2013』は、 術は宗教の母なり~宗教即生活即芸術~」 区新橋の航空会館において、田辺謙二大本 第百二十七回大本公開講座『出口なお・ 九月

のひな型としての大本の茶道は『信仰即生 のご聖苦と亭主としてのお心づかいなど、 か、大本に茶道を取り入れた三代教主さま 好評を博した総合芸術・茶道を解説したほ 品展の開催経緯や関係者の声、 大本の神殿の紹介にはじまり、 につけるためのものである」と結んだ。 活即芸術』の実践であり、『真善美愛』を身 体験談を交えながら解説した。「みろくの世 と芸術(能舞台)が三位一体となっている 講座では、信仰(拝殿)と生活(茶室) 同作品展で 大本海外作

東光苑秋をめでる夕べ

梅

暦八月十五日)、午後六時から八時まで催さ 東光苑秋をめでる夕べは、九月十八日(旧 六十人が来苑した。

設けられた。 御神酒接待、歴代教主さまのお作品展示が 苑内には路地行灯がともされ、薄茶席や

の名月を堪能した。 れぞれ担当。雲一つない夜空に浮かぶ中秋 を関東教区各主会の直心会のみなさんがそ 係員は、薄茶席を高野社中、 御神酒接待

東光苑祭典・行事予定

10月 (クリーン月間)

13日(日)午前10時30分執行

関東青松会主催「第5回元気の出る研修会 東光苑月次祭・市杵島姫命例祭

16日(水)午後7時~8時30分

講師 猪子恒(東京宣教センター次長) 講題 普遍の真理「四大主義」 「出口なお・王仁三郎の世界を語る図 〜宇宙の呼吸・宇宙のリズム〜

と題して開催された。参加者は十九人(内、

18日 (金) 午後7時 第46回「霊界物語」 全国

19日 (土) 午前10時30分

第22回家庭平安祈願祭

26日 (土) 27日 (日)

教本2級認定講習会

3日(日)午前10時30分執行

大本開祖大祭遥拝祭

10日(日)午前10時30分執行 東光苑秋季大祭・新穀感謝祭

16日 (土) 午前10時30分~ 七五三詣り

20日(水)午後7時~8時30分

東光苑大本葬祭講習会

講題 人は何のために生きるのか 出口なお・王仁三郎の世界を語る図

(東京宣教センター長) 万物に使命がある~

全国人型おすすめ活動日

23日 (土・祝

阿づまの光